

## 第 12 回防災計画研究発表会

発表題目：港湾の防災投資に関する一考察

発表者名：赤倉康寛

所属：国土交通省国土技術政策総合研究所

E-mail：akakura-y83ab@mlit.go.jp

共著者名（所属）：佐々木友子（国土交通省国土技術政策総合研究所）、小野憲司（港湾空港技術研究所）

概要（300 字程度）：

兵庫県南部地震を受け、震災直後の緊急物資輸送や経済活動の維持に必要な施設として、レベル 2 地震動に対して所期の機能を保持する耐震強化岸壁が位置付けられた。この耐震強化岸壁の事業評価において、定量的に把握可能な便益としては、地震発生確率を踏まえた地震発生時の輸送コスト削減額等が計上されている。しかし、算定は不確実な多くの仮定を伴う一方、その便益はかなり小さい。また、財政事情が厳しく、新規投資が著しく減少している中で、既存施設の耐震強化は中々進まない状況にある。主要港湾では港湾 BCP が策定されたが、耐震強化岸壁の有無が与える影響が適切に評価され、投資計画の立案にまで繋がった例は多くはないと思われる。以上の背景を踏まえ、耐震強化を推進するための制度や事業評価手法について議論を進めたい。

キーワード（3～5 個）：耐震強化岸壁、レベル 2 地震動、事業評価、港湾 BCP